

あとがき

読者の皆様、『臨床眼科』2013年3月号をお届けします。今月から昨年の臨床眼科学会での講演原著の掲載が始まりました。実際に学会に出席された方々でもとてもすべてのサブ領域を網羅的に概観することは無理だと思いますので、本誌を用いて原著論文で改めて内容を吟味するのも臨床眼科医としての実力アップに結びつくこと請け合いです。小さな一步一步の積み重ねを継続させることが、後から大きな収穫を得る秘訣で、今月も非常に参考になる報告が満載されています。特にラニビズマブ単独治療導入期に連続3回投与が必要かどうかの検討（井尻茂之氏ら）などは今後も色々な施設で検討する意義があるでしょう。お薦めの一編です。

本号を通読して気がついた共通点をいくつか挙げてみます。第1にOCTを中心とした画像診断です。網膜硝子体疾患の診療では黄斑部網膜外層（「網膜が厚くなる疾患1」, 香留 崇氏ら）、そして緑内障の診療では黄斑部網膜内層（「緑内障における網膜神経節細胞層の菲薄化」, 宇田川さち子氏ら）の詳細な所見の解析が行く行くはそれぞれの疾患の視機能の判定や予後を予測できるという内容で、網膜硝子体と緑内障の接点がOCTによって黄斑に求められると考えられます。そして将来期待される次世代のOCT（「黄斑研究会」, 伊藤逸毅氏）、より広く、より深く、より詳細にということと興奮します。第2に甲状腺眼症（「基礎からわかる甲状腺眼症の臨床」, 柿崎裕彦氏）と眼筋型重症筋無力症（「つけよう！ 神経眼科力」, 三村 治氏）があります。この2疾患では内科医や神経内科医よりも眼科医が診断や治療にイニシアチブを発揮するべきという理路整然たる内容に脱帽です。私などこれまで多くの患者さんを見逃していたと思われ、不勉強を反省しております。

それと最近の言葉「アラカン」（市川玲子氏）に自分を当てはめましたが、65歳未満を若年者とするという記載（林 泰博氏）もあり、個人的には勇気づけられています。（中澤 満）

編集顧問	清水弘一	塚原 勇	馬嶋昭生	増田寛次郎	大野重昭	玉井 信	三宅養三
	西田輝夫	水流忠彦					
編集委員	根本 昭	寺崎浩子	中澤 満	坂本泰二	鈴木康之	下村嘉一	

臨床眼科（第67巻 第3号）

2013年3月15日発行（毎月1回15日発行）

定価 2,940 円（本体 2,800 円＋税 5%）

2013 年年間購読料	
冊子版	42,080 円
冊子＋電子版/個人	47,080 円
冊子＋電子版/共有	53,400 円
電子版/個人	42,080 円
電子版/共有	48,400 円
増刊号を含む 13 冊，税込，送料弊社負担	

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室 (03) 3817-5706 FAX (03) 3815-7802

E-mail: ringan@igaku-shoin.co.jp

販売部直通 (03) 3817-5659

振替口座 東京 00170-9-96693 番

印刷所 三報社印刷㈱ 電話 (03) 3637-0005

広告申込所 ㈱文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo Bunkyo-ku, Tokyo © 2013, Printed in Japan.
- 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信（送信可能化権を含む）に関する許諾権は医学書院が保有しています。
- 本誌を無断で複製する行為（複写，スキャン，デジタルデータ化など）は，「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学，病院，診療所，企業などにおいて，業務上使用する目的（診療，研究活動を含む）で上記の行為を行うことは，その使用範囲が内部的であっても，私的使用には該当せず，違法です。また私的使用に該当する場合であっても，代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- **JCOPY** <㈱出版者著作権管理機構 委託出版物>
本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は，そのつど事前に，㈱出版者著作権管理機構（電話 03-3513-6969，FAX 03-3513-6979，info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

担当 松井・鶴淵・安部